

「国際画像機器展 2022」 出展レポート

2022 年 12 月 7 日(水)～12 月 9 日(金)にパシフィコ横浜で開催された「国際画像機器展 2022」にて企業セミナーへの登壇と企業出展を行いました。

セミナーでは、「現場が変わる！クラウド AI・エッジ AI 活用事例～ISP が加速する AI の社会実装～」のタイトルで講演を行いました。ピンポイントかつ的確な AI システムをどう構築するか、クラウド AI、エッジ AI などシステム形態ごとの特徴や活用事例をお話ししました。



【セミナー会場】

ブースでは、ISP 独自技術を用いた AI ソリューションとして、以下を展示しました。

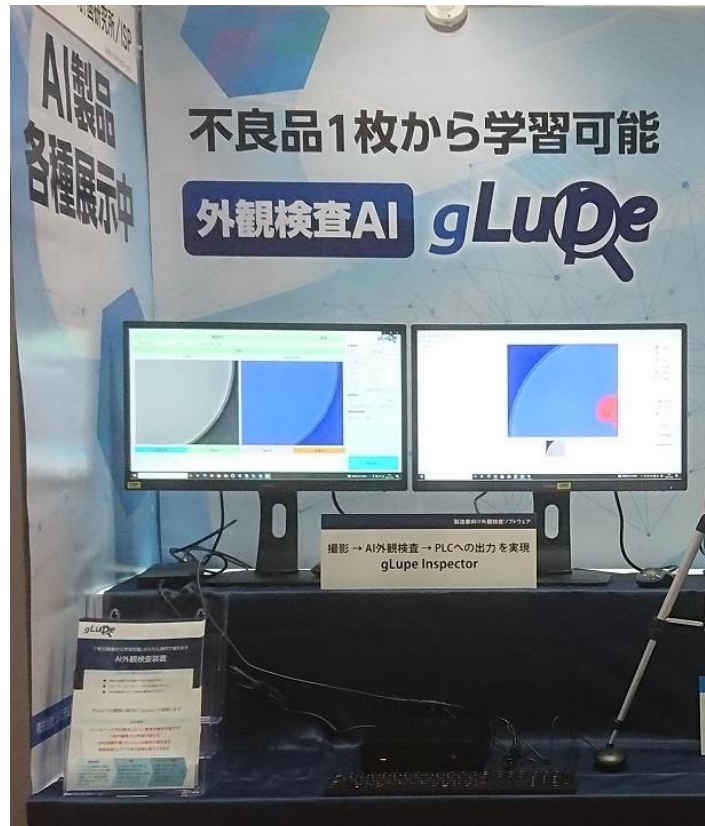
- ・ 製造業向け AI 外観検査装置『gLupe Inspector』
- ・ 現場ですぐに使えるエッジ AI 『ISP edgeAI』
- ・ ひび割れ検出 AI 『道路版ひびここ』



【出展ブース】

・ 製造業向け AI 外観検査装置『gLupe Inspector』

『gLupe Inspector』は、AI 外観検査ソフトウェア「gLupe」を搭載した、学習と推論のソフトウェアがパッケージとなっている外観検査装置です。不良品一枚から学習を行うことができ、少量データでの検査を実現します。その場で学習を行えるデモが好評でした。



【gLupe Inspector 展示】



【推論実行中の画面】左：推論対象の画像 右：結果画像

・ 現場ですぐに使えるエッジ AI『ISP edgeAI』

従来手法では実現が困難な業務自動化を『ISP edgeAI』で実現します。小型・軽量のハードウェアに ISP 独自の AI ソフトウェアを搭載しており、複数端末のリアルタイム分散処理やオフライン環境に強いシステムを構築できます。

ブースでは、「年齢・性別判別」「暴力検知」「人流解析」「物体カウント」をキーワードとした各種デモを展示しました。



【ISP edgeAI 展示】



【人流解析モニタリング画面】

Web カメラに映る人物の年齢・性別を推定し、集計結果をグラフで表示します。



【物体カウント推論結果画面】

簡単な GUI 操作で学習したモデルを使用して画像に映る任意の物体をカウントできます。

・ ひび割れ検出 AI ひびここ

『道路版ひびここ』は、道路のひび割れに特化したひび割れ検出 AI です。結果閲覧用の道路版ひびここアプリケーションを使用すると、道路のひび割れ状況が動画で見ることができます。また、点検したルートは損傷率が色別に地図上に表示されます。



【道路版ひびここ】



【道路版ひびここアプリケーション画面】

白線やアスファルトの境目と区別し、ひびを検する様子

・ 関連リンク

- ・ 国際画像機器展 2022 公式サイト
<https://www.adcom-media.co.jp/ite/>
- ・ システム計画研究所 人工知能事業 プロダクト・サービス
<https://www.isp.co.jp/products/ai/>
- ・ AI 外観検査ソフトウェア『gLupe』製品サイト
<https://glupe.jp/ja/>
- ・ ひび割れ検出エンジン『ひびここ』製品サイト
<https://www.hibikoko.com/>
- ・ プレスリリース：AI により回転すし会計の自動化を実現
<https://www.isp.co.jp/archives/NewsRelease-isp-20201202.pdf>

■ 本件に関するお問い合わせ先

展示物、出展内容に関するお問い合わせは、以下より受け付けております。

Tel : 03-4589-0232

Mail : ai-contact@isp.co.jp